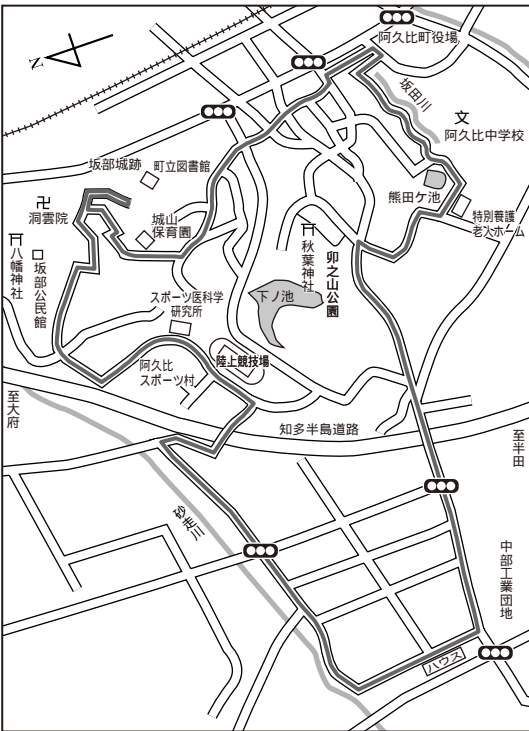


シリーズ

阿久比を歩く ⑥9



坂部城跡に建つ町立図書館

陸上競技場のフィールドの芝は薄茶色。鮮やかな緑色に変わるまでにはもう少し時間がかかりそうだ。第四チエックポイント「阿久比スポーツ村」の敷地を歩く。

野球場を見ながら、「実はここで野球をしたことがあるんだ」。友人に少し自慢げに話す。「どんな感じだったんですか」と尋ねられ、「広くてプレーするには最高な場所だね。打席にも三回立てて、気持ちよく三

於大の方コース

振できたよ。あのときのピッチャーがさあ……」。しばらく私の一方的な野球談議で盛り上がる。球春が待ち遠しい。

於大の方ゆかりの地へ向かう。細道の坂を下ると第五チエックポイント「洞雲院」が見えてきた。

洞雲院は徳川家康の生母、於大の方が嫁いだ久松家の菩提寺。知多四国八十八カ所第十五番札所でもある。境内には町指定文化財「久松・松平家墓地」があり、その中に於大の方の遺髪墓もある。

葬地に行ってみる。鳥のさえずりが響き渡る。十年前から一人で知多四国を巡っているという年配の女性に出会う。於大の方が「わが子家康」の幸せと女性の幸福招来をこの寺で祈った話を知り、毎回遺髪墓の前で手を合わせるとのこと。「静かな、いい場所ですねえ」と笑顔で言葉を残し、私たちの前から立ち去る。女性は於大の方に何を語り掛けたのだろうか。少し気になった。

第六チエックポイント「坂部城

跡」は洞雲院から少し歩いた場所にある。現在は城山公園となっている。第七チエックポイント「町立図書館」とは隣り合わせにある。

於大の方は家康を生んだ後、天文十六（一五四七）年坂部城主久松俊勝と再婚。政略結婚のため幼い息子と離ればなれとなる。家康は桶狭間の戦いを控えた永禄三（一五六〇）年母に会うために坂部城に立ち寄ったと言われる。

公園を通り抜け、図書館をのぞくと、母親が幼い子に絵本を読み聞かせている姿を目にする。「於大の方が見れば、うらやましい光景でしょうね」。珍しく友人が真剣な面持ちで話す。「そっだよな……」。今回は最後に少し「考える」ぶらり旅となった。

次の日「絵本を読んでいたお母さん、きれいでしたよね」と友人が私に話し掛けてきた。（あの時の真剣な友人の面持ちは何だったのだろうか。）

あぐいぶらり旅

ふれあひマップを歩く（於大の方コース②）



阿久比スポーツ村野球場